

【評価実施概要】

事業所番号	170501480		
法人名	(有) ケイアンドケイ		
事業所名	グループホーム ほほえみ		
所在地	札幌市白石区平和通15丁目北2-12 (電話) 863-5511		
評価機関名	NPO法人 福祉サービス評価機構 K-ネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年3月12日	評価確定日	平成20年3月28日

【情報提供票より】(H20年2月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 13人, 非常勤 3人, 常勤換算 1.6人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成20年2月29日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	1名	要介護2	6名
要介護3	3名	要介護4	4名
要介護5	4名	要支援2	0名
年齢	平均 83 歳	最低 71 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	クラーク病院・北楡病院・にひら病院・紺野整形外科クリニック
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム「ほほえみ」は月寒川沿いの住宅街の一角に立地し、緑が多い静かな環境にある。ホーム全体は広くゆったりとし、自然採光を十分取り入れた共有空間が広がっている。隣接には同法人のグループホームがあり、職員同士の情報交換・研修が行われ「その人らしい生活」ができるよう、「その方の持っている力」を最大限引き出せるようにと管理者はじめ職員が一体となった質の高いサービスが実践されている。また協力医療機関による医師・看護師の定期訪問往診があり、医療と介護が連携された、穏やかに安心して暮らせるサービスが提供されているグループホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価の改善課題は全職員で改善計画へと取り組まれ、前回課題であったホームの運営理念はホームの見やすい所に掲示され、職員はじめ利用者・家族等にも理解され周知されている。</p> <p>全職員で自己評価に取り組み、自己評価の意義を理解し、各ユニットごとに現状分析・取り組み方針など検討した取り組みが行われている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は町内会・民生委員・地域包括センター・家族等の参加のもと定期的に開催され、ホームの理念・運営状況報告、地域住民の理解と支援を得る為の話合いが行われている。また地域住民に向けた地域福祉権利擁護事業・成年後見制度の研修会を開くなど、会議を活かした取り組みが行われている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の意見や要望は意見箱の活用や、家族の来訪時に積極的に聞き取り、コミュニケーションを図りながら、家族の意見・要望を話しやすい雰囲気作りを努めている。また利用者の状況は毎月、職員自筆のお手紙や、広報誌「ほほえみ」に記載し近況報告されている。また運営推進会議に家族も参加して、意見を聞き運営に活かされている。</p>
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>町内会・老人クラブに入会し、行事に参加して地域との交流を図っているが、まだ地域住民と関わりを持つ場が少ないため、町内会の回覧板を通じてホームの行事予定・活動内容等を伝え、グループホームへの理解を深められるように、働きかけが行われている。</p>

# 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしい生活支援を支える為、地域密着型サービスとしての役割を盛り込んだ事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者はじめ職員は理念を共有し、ミーティングやカンファレンスの時に確認して、日々介護の中で理念実践へと取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して、地域の行事・地域活動に積極的に参加し、地域住民との交流を図っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価と外部評価の意義を理解し、全員で自己評価に取り組み、評価結果を基にサービスの質の向上に向けて努力している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホーム職員・利用者家族・町内会会長・民生委員・地域包括支援センターの参加のもと2ヵ月に1度開催され、事業所の運営状況の説明・地域の理解と支援を得るための話し合いが行われ、サービスの質の向上に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも事業所の実情を定期的に報告して、行政の担当者と積極的に関わりを持つように努めている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>広報「ほほえみ便り」を発行・職員の自筆によるお手紙に細やかな近況報告を行い・金銭出納については毎月家族に報告し、確認のサインを貰っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に苦情・相談窓口を明示したり、意見箱を玄関に設置し、家族が意見を出しやすい体制・環境設定に取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の移動は必要最小限に抑え、利用者や職員の馴染みの関係を大切にすることを努力をして、利用者のダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員育成に向けた内部・外部研修会を実施し、情報・意見交換が積極的に行われており、知識・技術の向上に取り組んでいる。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	他のグループホームとの交流があり、交換研修・事例検討などが行われ、サービスの質の向上に活かされている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居前に家庭訪問・ホーム見学を行い、コミュニケーションを図ると共に、職員と馴染みの関係を築いてからのサービス開始になり様に配慮している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員は利用者の尊厳を大切にし、本人の得意とすることを促し、共生・理解しながら一緒に過ごし支えあえる関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の生活歴を踏まえて、得意なこと・出来る事・出来ない事を見極め、本人の希望に沿った支援が行われるように努めている。</p>		
<p><b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>その人らしく生活が出来るように本人・家族の意向・要望を取り入れた介護計画が立てられ、利用者の状態変化を把握し、カンファレンスや計画見直しの際に反映されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的にモニタリングやカンファレンスを行い、利用者に状態変化があった場合は随時対応が出来るシステム作りがされている。</p>		
<p><b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>外出・外泊支援など本人や家族の希望に応じた支援を行っている。また希望するかかりつけ医への受診支援を行い、柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族が希望するかかりつけ医での受診支援が行われ、定期的な往診や、緊急時対応など適切な支援体制が作られている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に本人・家族へ説明があり、重度化した場合や終末期のあり方について、家族と共に話し合い、協力医療機関とも連携された協力体制が取られている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は、利用者のプライドを傷付けない言葉掛けや対応を心がけており、個人情報に関する書類等の管理も適切に行われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の希望に合わせて、利用者本位のペースを保てるように支援をして、日々の散歩など一人ひとりの希望を大切に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	職員は利用者の得意なこと、関心のある事を把握し、献立のメニュー作り・食事の準備・後片付け等を楽しみながら支援をしている。		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	曜日や回数など利用者の希望に応じた入浴支援を行い、入浴できない場合は、清拭を行い適切な支援が行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	利用者の生活歴や身体状況を踏まえて、縫い物・粘土作り・人形作りなど、得意な事・好きな事を促した支援をしている。		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	利用者の希望や体調を考慮して、散歩・買い物・ドライブ・外食などの外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	全職員がカギをかけないケアの大切さを理解し、職員による気配り・目配りを怠らず、自由な暮らしが出来るように支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	緊急時の連絡簿を作成し、年2回の消防署と連携した避難訓練を実施している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	利用者の健康状態に応じた調理方法の工夫をし、食事量・水分量が記録されているが、栄養バランス等については専門家によるチェック体制はない。		定期的に栄養士に献立を確認して貰いながら、学習会を開くなどの取り組みが期待される。
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共用空間は広く、自然採光を十分取り入れられ、利用者が穏やかに安心して過せる環境作りがされている。また採光・臭気・湿度・換気などは状況に応じて、適切に配慮されている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	個々の使い慣れたベット・タンス等の生活用品が持ち込まれ、好みに合わせて過ごせる環境整備がされている。		

 は、重点項目。